

地方企業の成長メカニズムに関する研究

学生氏名 青木萌倭

指導教員 教員氏名 那須清吾

研究背景

現在の高知県では小規模事業者に大きく依存しており、公共交通網が少ないため産業集積が起きにくい。このような経済背景をもつ高知県の企業分析を行ってきたなかで、高知県で成長できている企業とできていない企業があることがわかってきた。これまでの企業の成長に対する先行研究では土地の環境や周囲との関りに対する研究がなく、結論が出されていることが多くあった。そこで、なぜ高知県で成長できている企業とできていない企業あるのか、その原因はなにか分析することによって今ある企業へのアプローチや都市部にある企業への誘致が容易になるのではないかと考えた。

研究目的

高知県における成長できる企業と成長できていない企業の特徴を分析することによって、環境や地域との関りや企業の特徴においてどのような要因が企業の成長へより影響を与えているか明らかにする。また解明した要因をもとに成長性や成長の実績との関係性を理論化し、他県の地方においても応用可能にする。

研究方法

地方企業の成長メカニズムにおいて明らかとなっていることを先行研究に基づき考察し、そのうえで地方企業が成長に受ける外的要因の分析を行った。これに基づき高知県の企業について分析し、QCA 分析における条件変数の設定を行った。QCA 分析の結果をもとに高知県で成長している企業がもつ特徴について整理し、高知県の環境と企業の特徴における成長性について考察を加え、高知県ではどのような特徴を持つ企業が成長するのか、地方におけるその土地にとって成長しやすい企業の分析方法について提示した。

分析結果

「関連産業がない」といった特徴や「商品の寸法や重さが小さい」といった特徴を含む組み合わせにおいて consistency や coverage の数値が高くなった。また、地方の特徴である公的機関や行政、マスコミ、大学との関りと組み合わせることによって数値が高くなった。

考察・結論

高知県においては関連産業がなく商品の重さや寸法が小さいといった特性を持つ企業が公的機関や行政、マスコミ、大学とつながりやすいといった高知県のメリットと組み合わせることによって成長しやすくなるといえる。これは高知県土地の安さや産業集積が生まれにくいといった環境と企業の特徴が組み合わせることによって、競合になりにくいといったメリットを生み出すためである。また、高知県における商品の運送の有無については運送がある場合が成長しやすいと考えられる。高知県において企業間同士の関りを持つきっかけにつながり情報収集の機会を生み出すことが可能であるためである。